

喜撰嶽きせんがだけは三室戸みむろとより一里ばかり巽むすひにして、櫃川村ひつかはの山上やまの上にあり。こゝに岩岨いわせありて、これを喜撰洞きせんとうといふ。此絶頂ぜつていより喜撰法師きせんぽうし雲うんに乗じて登天とんてんし給ふとぞ。〔頓阿とんあが井蛙抄せいあせうに、喜撰きせんが住家すみかは三室みむろのおくなりといひ。長明無名抄ちやうめいむみやうせうには、三室戸みむろとのおく廿余町にじゅうよばかり、山中やまの中に入いて、宇治山うぢのやまの喜撰きせんが住すむる跡あとあり、家はなけれど堂だうの礎いしなどさだかにあり、これら必尋かならずてみるべき事ことなりとかけり。又古今ここんの序しりに、宇治山うぢのやまの僧そうきせんは、こと葉はかすかにしてはじめをはりたしかならず、いはゞ秋あきの月つきをみるにあかつきの雲うんにあへるがごとし云々〕